

さい がい そ な 災 害 に 備 え て

～もしものときに、あなたはどうしますか?～



ねん 年 くみ 組 ばん 番 なまえ 名前

さいがい ひと
災害にそなえて、おうちの人と

いっしょに考えてみましょう



ようす こうどう
おうちの様子やふだんの行動について、
どんなことを心がけているかな?

Q1 まず、おうちの人と(☑)チェックしてみよう!

- ア () 家具などがたおれないようにくふうしている
- イ () 食器だなや窓のガラスが割れても飛びちらないように、フィルムをはっている
- ウ () 高いところには、ものをおかないようにしている
- エ () 台風のきせつには、テレビやラジオで台風じょうほうをチェックしている
- オ () コンロやストーブなど、火のそばにもえやすいものをおいていない
- カ () ふだん使わない電気ききのコンセントをぬいている
- キ () ひなんするときのつうろに、大きなもつなどをおいていない
- ク () 消火きやバケツをいつもよういしている
- ケ () いざというときのひなん場所や家族とのれんらく方法を決めている
- コ () 通学路やいつも通る場所で、きけんな場所があるか知っている



なに
何がわかったかな!





がっこう
学校にいるときに、
おお じしん
大きな地震がおきました
あんぜん こうどう
あわてずに安全に行動することが大切です。



Q2 きょうしつ べんきょう
教室で勉強しているときに、
おお じしん
大きな地震がおきたら、まず、どうしよう？

- ア () にげおけないように、急いでろうかに出る
- イ () ぼうさい つかえ した
防災ずきんをかぶり、机の下にもぐる
- ウ () まずは、まど
窓ぎわににげる

どうしてなのか？ かんが
考えてみよう！

Q3 としょしつ
図書室にいるときに、
おお じしん
大きな地震がおきたら、まず、どうしよう？

- ア () ゆれがしずまるまで、ほん
本だななどにつかまり、ようすをみる
- イ () いそ
急いで、じぶん きょうしつ
自分の教室にもどる
- ウ () としょしつ つくえ した
図書室の机の下にもぐる

どうしてなのか？ かんが
考えてみよう！

Q4 うん どうじょう
運動場にいるときに、
おお じしん
大きな地震がおきたら、まず、どうしよう？

- ア () すぐにこうしゃ なか
校舎の中のにげこむ
- イ () うんどうじょう ちゅうおう
すぐに運動場の中央にいぐ
- ウ () すぐにこうしゃ
校舎のそばににげるか、
サッカーゴールなどのしっかりしたものにつかまる



どうしてなのか？ かんが
考えてみよう！

Q5 しず
ゆれが静まったら、まず、どうしよう？

- ア () まずは、ひとり せと
一人で外ににげる
- イ () まずは、せんせい い
先生の言うことをよくきく
- ウ () まずは、ひなんけいろに いそ
ひなんけいろに急ぐ



どうしてなのか？ かんが
考えてみよう！

防災教育学習資料「防災チェックシート」活用のお願ひ

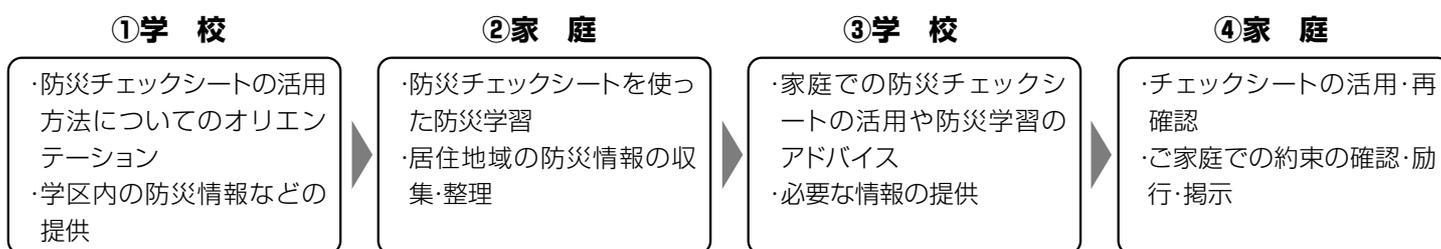
日頃から、本市の学校教育について、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

今般、児童生徒の安全確保に関して、その危機回避能力の育成を目指す「防災教育」の一環として、別紙のとおり「防災チェックシート」を作成し、市立学校全児童生徒あてに配布しました。学校でもお子様に説明しますが、ご家庭においてお子様と共に、防災についてお子様の実情に応じて指導されることが、大変効果的です。子どもたちの危機回避能力を育成することは、保護者や学校、地域の方々などすべての横浜市民の願ひであり、また、私たち大人全員の責務でもあります。趣旨をご理解の上、ご指導くださいますよう願ひ申し上げます。

◎「防災チェックシート」の趣旨

- ①お子様と保護者が共に、地域や通学路を歩き、気をつける場所を確認し、マップづくりをしたり、身近な危険を発見するために、自宅危険チェック図を活用して、子どもたちに実践的な防災行動を学ばせる機会とします。
- ②お子様と保護者のご家庭での話し合いの時間を大切にし、その中で防災行動のチェックをしていただきます。行動の約束や連絡の仕方などを確認することで、危機回避に役立てます。
- ③地域の方々や学校などが行っている防災活動を具体的に知ることで、自分の安全に生かすことや地域社会の人々と協力することの大切さを学ぶものとします。

◎防災学習の進め方のポイント(4段階)



※学校に提出する際は、個人情報の取り扱いについては十分にご留意ください。

◎今回配布した資料と内容

防災チェックシート…危機を回避するための知識や対処の仕方についての設問

自宅危険チェック図…自分がふだんご飯を食べている部屋で大きな地震が起きたら、どんな危険があるか考えてみてください。どのように避難し、どうすればこのような危険が防げるかを、家族のみなどと話し合ってみましょう!

* 地域安全マップ……防犯学習での「安全マップ」に防災情報も整理して、必要な情報を記入してください。

子どもたちが災害に備えて (チェックシート解説編)

～シートの学習を通して子どもたちに身につけていただきたいこと～



災害に備えて、家の様子やふだんの行動について、心がけなければならないことがあります。

Q1 まず、おうちの人と(☑)チェックしてみよう!

10項目のうち、いくつチェックできましたか?

ふだんから、心がけておかなければならないことばかりです。



学校にいる時に、大きな地震が起きました。あわてずに安全に行動することが大切です。

ものが落ちてきたり、倒れてきたりします。ゆれが静まるまでは、あわてずに落ち着いて行動できるよう指導してください。

Q2 教室で勉強しているときに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう? 望ましい答え イ

Q3 図書室にいるときに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう? 望ましい答え ウ

Q4 運動場にいるときに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう? 望ましい答え イ

Q5 ゆれが静まったら、まず、どうしよう? 望ましい答え イ



登下校中に、大きな地震が起きました。危険な場所がたくさんあります。

ふだんから危険な場所を確認し行動できるように指導してください。

Q6 学校の行き帰りに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう? 望ましい答え ウ



家にいる時に、大きな地震が起きました。地震はいつ・どこで起きるかわかりません。

一人でいるときに起きるかもしれません。あわてずに落ち着いて行動できるように指導してください。

Q7 家にいるときに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう? 望ましい答え ア



「いざ」というときのことを想定して、防災の視点から地域社会を確認しておきましょう!

Q8 災害が起きた時、次のことを知っていますか?

「広域避難場所」がどこにあるか? また、「連絡方法」など、家の人と確認してありますか?

地域や学校で行っている防災訓練に参加し、具体的な内容をよく知って活用することが安全確保に役立ちます。お子様と一緒に、確実に把握してください。

Q9 学校から家までの通学路やふだん使う道で、危険な場所があります。たしかめておきましょう!

我が家の防災会議

もしもの時に備えて、お子様が助けを求められることができるよう「連絡先」や「連絡方法」など、防災について、ご家庭で十分に話し合っておいてください。

自宅危険チェック図

ふだんご飯を食べている部屋で大きな地震が起きたら、どんな危険があるか考えてみてください。

部屋全体を見回し、平面図を書いてみてください。その時、どの方向に、どのように避難しますか? どうすればこのような危険が防げるか? など、話し合ってみてください。

安全マップをつくろう

学校への通学路や駅などへの経路などを実際に歩いて「地域の安全」について確認してください。

防犯学習での「安全マップ」に防災情報も整理して、必要な情報を記入してください。

自宅危険チェック図をつくらう

大きな地震が発生がしたとき、あなたの身のまわりの危険を発見をしよう！

◆保護者と相談して、自宅のチェック図を作りましょう

①まず、あなたがふだんご飯を食べている部屋全体を見回し、平面図を書いてみましょう

- 部屋の壁 部屋の出入り口 部屋の窓 ガス台 流し台
 冷蔵庫 テーブル 食器棚 テレビ 棚 など

②次に、今、大きな地震が発生し、大きくゆれが起こったら、どうなるか想像してみましょう

- 冷蔵庫が倒れる ガラスが割れて、破片が飛び散る 台所の火に物が落ち火事になる
 テレビやパソコンが倒れる 食器棚が倒れ、中の食器が飛び散る ピアノが動き出す など

③あなたは、その時、どの方向に、どのように避難しますか？

④さあ、どうすればこのような危険を防げるか？ 家族のみんなと話し合ってみましょう！

*保護者様

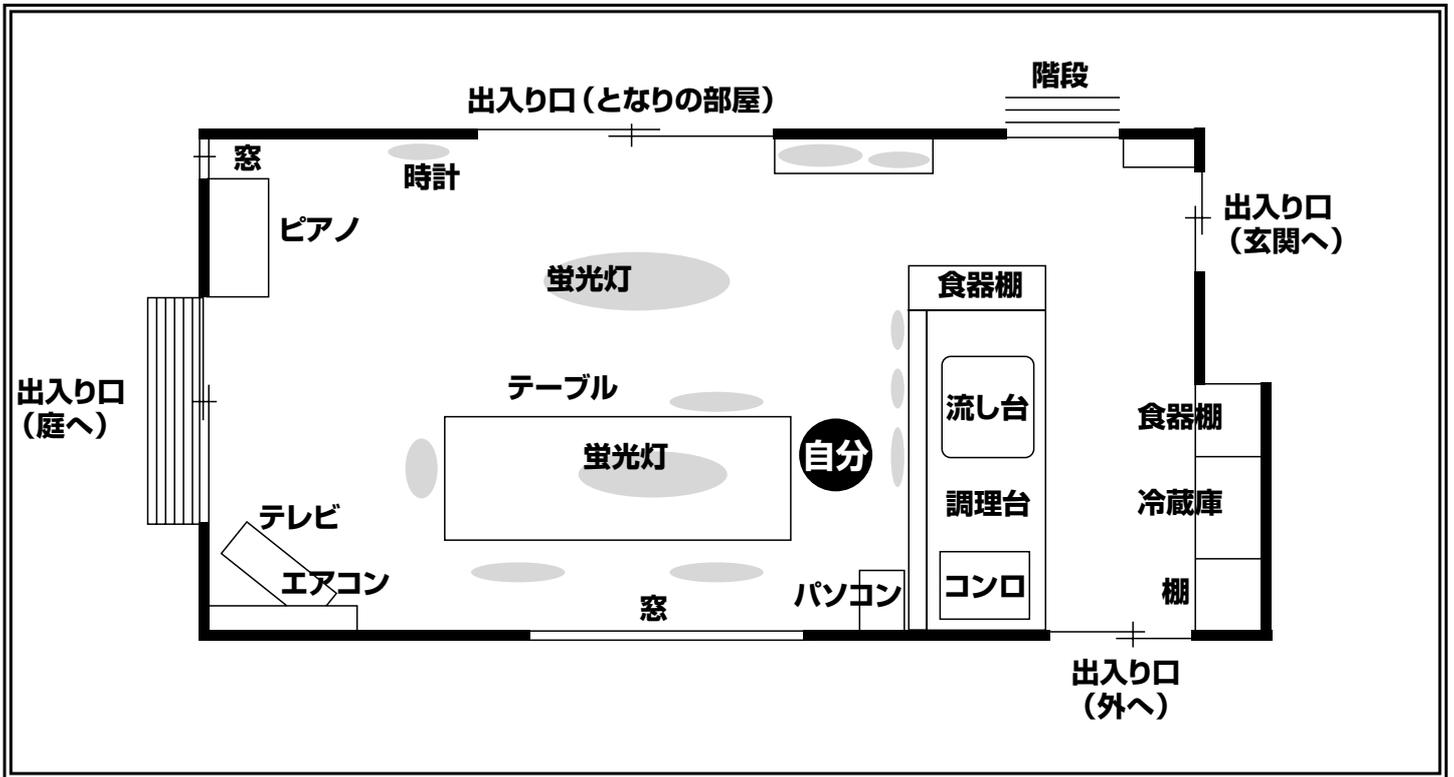
- 1 自宅危険チェック図のサンプルをご参考にして、身のまわりの危険を発見するため、お子様と一緒に自宅危険チェック図を作成してください。
- 2 大きな地震があったら、部屋全体はどうなりますか？ 想像力を働かせて、人や物の動きを書きましょう。

◆危険個所をチェックしての感想（自分）

◆危険個所をチェックしての感想（家族）

自宅危険チェック図 (サンプル)

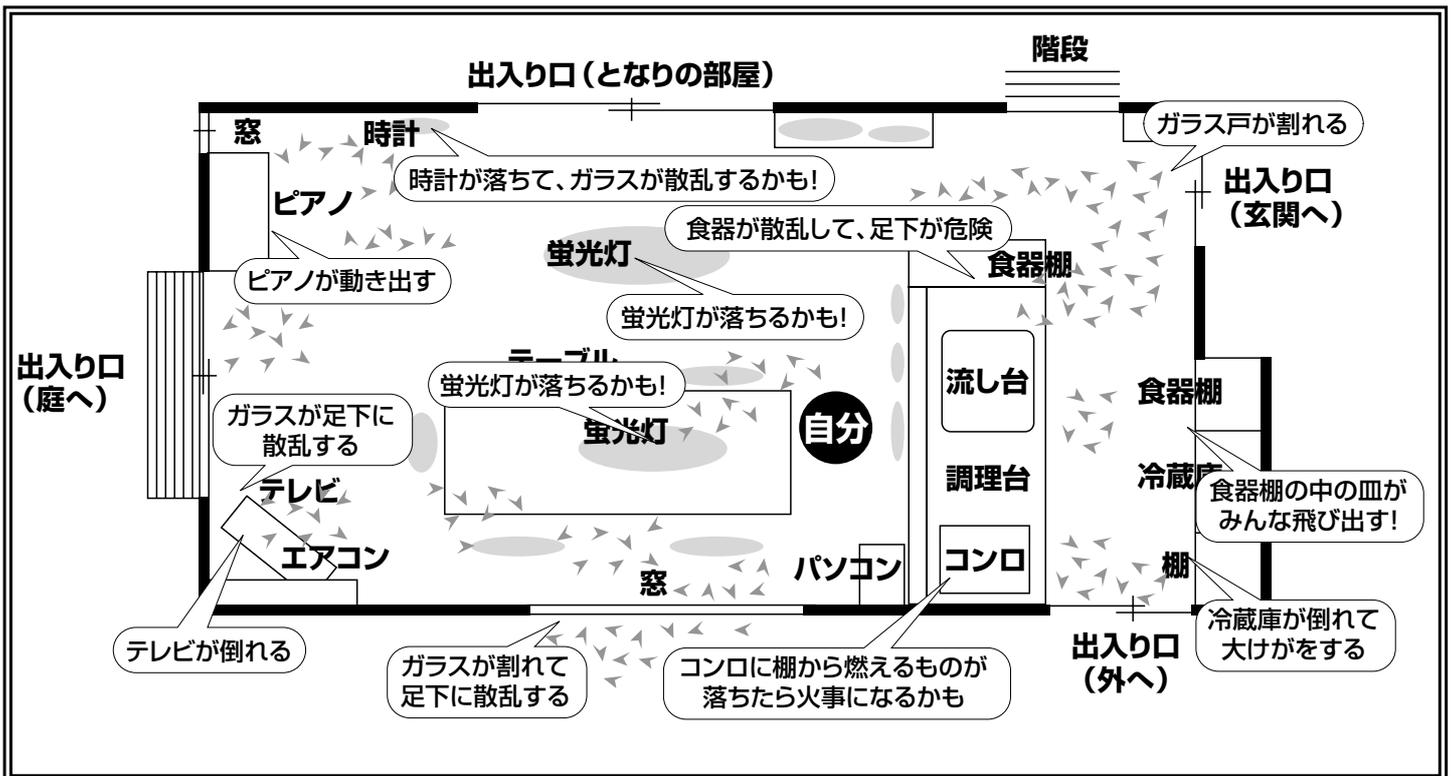
①まず、あなたがふだんご飯を食べている部屋全体を見回し、平面図を書いてみましょう



②次に、今、大きな地震が発生し、大きくゆれが起こったら、どうなるか想像してみましょう

③あなたは、その時、どの方向に、どのように避難しますか？

④さあ、どうすればこのような危険が防げるか？ 家族のみんなと話し合ってみましょう！





登下校中に、大きな地震がおきました

危険な場所がたくさんあります。ふだんからチェックしておきましょう。



Q6 学校の行き帰りに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう？

ア(□)ブロックべいや電柱などのしっかりしたもののそばににげる

イ(□)ビルや建物ににげこむ

ウ(□)危険な場所からはなれ、安全な場所でゆれの静まるのをまつ

どうしてなのか？考えてみよう！



家にいるときに、大きな地震がおきました

地震はいつ・どこでおきるかわかりません。一人でいるときにおきるかもしれません。

Q7 家にいるときに、大きな地震がおきたら、まず、どうしよう？



ア(□)机の下などにもぐって、ゆれの静まるのをまつ

イ(□)1階にいるときは、2・3階に急いであがる

ウ(□)すぐに外へ飛び出す

どうしてなのか？考えてみよう！



知っていますか？

※防犯学習での「安全マップ」に書いておこう。

Q8 災害がおきたとき、つぎのことを知っていますか？

広域避難場所 家族みんなの集合場所 家族との連絡方法

非常持ち出し品 災害時伝言ダイヤル(171番)



Q9 学校から家までの通学路やふだん使う道で、危険な場所があります。たしかめておきましょう！

ビルのまどガラスの落下 ブロックべいのくずれ 看板などの落下 がけくずれ

我が家の防災会議



保護者の皆様

もしもの時に備えて、お子様が助けを求めることができるよう「連絡先」や「連絡方法」など、防災について、ご家庭で十分に話し合っておいてください。また、学校への通学路や駅などへの経路などを実際に歩いて「地域の安全」について確認してください。

もしものとき、どうしますか？



家族で話し合った内容メモ

●もしものときの連絡は

●もしものときに家族が集まる場所は

●もしものときの避難場所は

●もしものときの持ち物は

いざというときのダイヤルメモ(あらかじめ調べて書いておきましょう)

*家の人のでんわ ①(-) ②(-)

*家の人につたえられないとき 「 」さん でんわ (-)
「 」さん でんわ (-)

*火事・救急・救助 119番(落ち着いて)

非常持ち出し品を書き出そう!

<つたえ方>

①火事です(救急です)

②〇〇〇〇が燃えています(急病・ケガです)

③住所は〇〇区〇〇町〇〇番地です

④名前は〇〇〇〇です

⑤目標は〇〇〇〇です

⑥電話番号は〇〇〇〇〇〇です



*災害時伝言ダイヤル 171番